



山陰本線で観光列車
「あめつち」の運行を開始。



Let's Discover
West Japan

がんばろう! 西日本

JR-West's Business Report

株主の皆様へ

第32期 中間事業報告

2018年4月1日 ▶▶ 2018年9月30日

ひと、もの、こと。つないで結ぶ
「ハローキティ新幹線」スタート!



西日本旅客鉄道株式会社

株主の皆様へ

平素は、JR西日本グループの事業運営にご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、2005年4月25日に福知山線列車事故を惹き起こした責任と重大性を重く受け止め、安全性の向上に向けて、ハード、ソフト両面からさまざまな取り組みを積み重ねてきました。引き続き、私をはじめJR西日本グループの一人ひとりが使命感をもって、それぞれの立場で役割を誠実に実行し、安全な鉄道を築き上げていきます。

当社グループは、本年4月に「JR西日本グループ中期経営計画2022」と、その中核をなす「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2022」をスタートさせました。「福知山線列車事故のような事故を二度と発生させない」との変わらぬ決意のもと、企業理念、経営ビジョンの実現に向けて計画を推進し、「めざす未来」である「人々が出会い、笑顔が生まれる、安全で豊かな社会」づくりに貢献します。

株主還元につきましては、2022年度において配当性向35%をめざし、安定配当を行います。当期の中間配当につきましては、前期末に実施いたしました配当80円に7円50銭を加え、1株につき87円50銭といたしました。あわせて、2022年度までの累計の総還元性向40%程度を目安とし、機動的な自己株式取得も行っていきます。当期はこれまでに当社普通株式1,253,600株の取得及びその消却を実施しました。

当社グループを取り巻く経営環境は、人口減少に伴う市場の縮小や労働力の減少等、社会構造の変化という面では大変厳しい状況にあると言わざるを得ませんが、一方で、訪日お客様の増加に加え、大規模なプロジェクトが複数進行しており、成長の機会は今後も数多く存在しています。

このような中、私たちの強みである地域の皆様と連携する力、グループ一体で施策を推進する力を磨き続け、「めざす未来」からの視点に立ち「挑戦し続ける企業」となることで、社会、経済の発展に貢献し、中長期的な企業価値の向上に努めていきます。

そして、JR西日本グループ全体で成長に向けて絶えず進化し、未来を切り拓いていきます。

株主の皆様におかれましては、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 来島達夫

2018年12月

事業の経過及び成果

①全般の状況

営業収益

7,369 億円

前年同期 7,271億円 (1.4%増)

経常利益

1,058 億円

前年同期 1,026億円 (3.1%増)

親会社株主に帰属する四半期純利益

564 億円

前年同期 678億円 (16.7%減)

当社は、2005年4月25日、福知山線塚口駅～尼崎駅間において、106名のお客様の尊い命を奪い、500名を超えるお客様を負傷させるという、極めて重大な事故を惹き起こしました。事故現場については、9月に「祈りの杜 福知山線列車事故現場」として、整備が完了しました。福知山線列車事故のような事故を二度と発生させないとの変わらぬ決意で、引き続き被害に遭われた方々へ真摯に向き合い対応するとともに、安全性の向上に向け、弛まぬ努力を積み重ねていきます。

当社グループは、今年度より「JR西日本グループ中期経営計画2022」（以下、「中計2022」）と、その中核をなす安全の具体的計画として、「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2022」（以下、「安全考動計画2022」）をスタートさせました。また、当社グループのありたい姿の実現を技術面から模索していく「JR西日本グループ技術ビジョン」を策定しました。

これらのもと、中長期的な企業価値向上に向けて、各種施策を推進しました。一方で、当社エリアにおいて、大阪北部地震（6月）、「平成30年7月豪雨」（7月）、台風21号、24号（9月）等の自然災害が発生しました。特に「平成30年7月豪雨」に関しては、現在も一部の線区で運転を見合わせていますが、地域の皆様と連携しながら復旧に全力で取り組み、被災地復興に向けての取り組みを継続していきます。

引き続き、「中計2022」に掲げるグループ共通戦略である「地域価値の向上」、「線区価値の向上」、「事業価値の向上」に加え、鉄道事業、創造事業それぞれの基本戦略、事業戦略を推進し、めざす未来である「人々が出会い、笑顔が生まれる、安全で豊かな社会」づくりに貢献していきます。

当第2四半期連結累計期間においては、運輸業セグメントで自然災害によるご利用減等のため減収となりましたが、その他の各セグメントが堅調に推移し、営業収益は前年同期比1.4%増の7,369億円、営業利益は同1.9%増の1,133億円、経常利益は同3.1%増の1,058億円となりました。しかしながら、法人税等を控除した親会社株主に帰属する四半期純利益は、自然災害による特別損失を計上したことにより、同16.7%減の564億円となりました。自然災害により一時的に影響を受けたものの、引き続き「中計2022」で掲げた各種施策に着実に取り組んでいきます。

今後も、人口減少に伴う市場の縮小や労働力の減少、激甚化する自然災害等、当社グループを取り巻く経営環境は厳しい状況にあります。当社グループの強みに磨きをかけ続けるとともに、新たな市場や事業領域への展開に挑戦し、中長期的な企業価値向上に向けて取り組んでいきます。



②セグメント別の状況

運輸業

営業収益 **4,713** 億円
(前年同期比0.3%減)

営業利益 **878** 億円
(前年同期比5.1%増)

[安全性向上等]

当社グループは、「安全考動計画2022」のもと、「組織全体で安全を確保する仕組み」、「安全最優先の風土」の構築に向けた取り組みを推進しています。しかしながら、9月に作業中の協力会社の社員が死亡する労働災害が発生しました。速やかに再発防止策を講じるとともに、これまでの取り組みを見つめ直し、このような事故を二度と発生させないよう、グループ全体で取り組みを進めます。

安全性向上の取り組みとして、地震対策や豪雨対策等の自然災害対策についても推進しています。

地震対策については、過去の震災の経験等を踏まえ、高架橋柱や駅舎等の耐震補強工事、山陽新幹線における逸脱防止ガードの整備等を引き続き推進しています。

豪雨対策については、京阪神エリアにおいて集中的に取り組んでいる斜面防災対策により、対象線区における運転規制時間を対策実施前と比較して約45%削減するレベルに到達しています。さらに、2022年度までの計画において、琵琶湖線、JR京都線、JR神戸線の主に特急・新快速列車が走行する区間についても斜面防災対策を進めており、工事完了後は実施前と比較して運転規制時間を大幅に削減できる見込みです。なお、これらの対策と合わせて、安全最優先の観点から、著しく勢力の強い台風接近

自然災害対策の実施

近年、激甚化する自然災害等の課題に対して、ソフト・ハードの両面から取り組みを推進しています。

豪雨対策として、一層の安全・安定輸送の確保を図ることをめざし、京阪神エリアにおいて集中的に斜面の補強、排水設備の整備などの斜面防災工事を進めています。これにより安全性を向上させ、あわせて構造物の安全性が高まることにより雨量規制にかかる規制値を緩和し、運転規制時間を大きく減らすことができます。

斜面防災



防風柵



また、琵琶湖の西側を走る湖西線と日本海に面して走る北陸本線は、運転見合わせや徐行運転といった強風による運転規制が多い線区であり、防風柵を設置することで運転規制の緩和を図っています。

に際して、事前にお知らせをしたうえで、計画的な列車の運休を各エリアで実施しました。今後も必要に応じて実施し、その際にはお客様や地域のご理解を得るため、引き続き適切な情報提供等に努めていきます。

また、新幹線の安全性向上については、昨年12月の新幹線の重大インシデントに関して、台車の異常を発見できなかったことと、運行中に異常を感じたにもかかわらず運転を継続させたことを重く受け止め、社員が異常を認めた場合や安全が確認できない場合はただちに列車を止めることや、関係者に報告し速やかな組織的対応により安全の確保を行うことを徹底するなど、異常時の適切な対応に向けた対策を着実に実施しています。また、超音波探傷検査の実施や目視による台車の入念点検等により車両の安全確保に万全を尽くすとともに、走行中の台車の異常を検知する装置の導入等の対策を進めていきます。

さらに、車内防犯カメラの増設や警備員の車内巡回強化、防護用品の整備等を進め、新幹線車内のセキュリティ確保に努めていきます。

加えて、安全を支える技術の取り組みとして、運転支援機能の充実を図った車上主体式の新保安システム（D-TAS）を山陽本線西広島駅～岩国駅間で5月に使用開始しました。

【営業施策等】

営業施策については、CS（お客様満足）を鉄道事業の基本戦略の一つに位置付け、お客様の多様なニーズにお応えする施策を推進しながら、ビジネス・観光需要の獲得、創出に取り組んでいます。

引き続き、CSの向上に向けた各種施策に取り組むとともに、新幹線における輸送サービスの品質向上、近畿エリアでの線区価値向上、西日本各エリアでの地域と連携した観光誘客等を進めました。

また、「平成30年7月豪雨」からの復興を目的とした「『がんばろう！西日本』キャンペーン」の実施等により、割引切符の設定やPRに努め、観光需要の喚起等に取り組んでいきます。このほか、10月1日の「ICOCAポイント」のサービス開始に向け、準備を進めました。

（主な具体的取り組み）

ア. 新幹線

- ・500系「ハローキティ新幹線」の運行開始（6月）
- ・「『日本の美は、北陸にあり。』キャンペーン」の実施（4～11月）

イ. 近畿エリア

- ・茨木駅のリニューアル工事完了、グランドオープン（4月）

- ・嵯峨野線京都駅～丹波口駅間の新駅の駅名決定（7月）
 - ・おおさか東線新大阪駅～放出駅間の新駅の駅名決定（7月）
- ウ. 西日本各エリア
- ・「せとうちキャンペーン」の実施（3～6月）
 - ・「山陰デスティネーションキャンペーン」の実施（7～9月）
 - ・観光列車「あめつち」運行開始（7月）
 - ・『「がんばろう！西日本」キャンペーン』の実施（8月～）
 - ・「ICOCA」の利用可能エリアの拡大（山陽本線、赤穂線、北陸本線）（9月）
- エ. CSの向上
- ・チャットによるお忘れ物問い合わせ窓口の設置及びお忘れ物専用ダイヤルの開設（5月）
 - ・公式Twitterでの運行情報提供の開始（8月）
- オ. 訪日のお客様への対応、需要の創出
- ・京都駅の「みどりの窓口」内における訪日のお客様専用窓口の機能強化（4月）
 - ・シンガポール事務所の支店化による現地旅行者との販売連携や宣伝活動の強化（4月）

バス事業、船舶事業（宮島航路）については、安全輸送を基本とし、お客様のご利用に応じた輸送改善等の実施により、利便性向上に努めました。

運輸業セグメントでは、自然災害によるご利用減等のため、営業収益は前年同期比0.3%減の4,713億円となりましたが、復旧工事に最優先で取り組んだため、計画していた工事の一部について工程調整を行ったことにより、営業費用が減少し、営業利益は同5.1%増の878億円となりました。

流通業

営業収益 **1,196** 億円
(前年同期比1.8%増)

営業利益 **29** 億円
(前年同期比11.5%減)

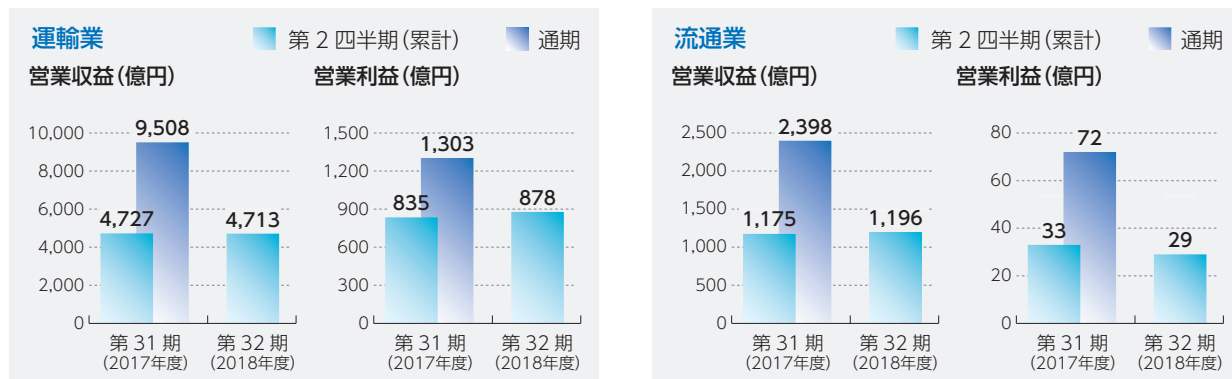
流通業については、直営業態の運営力を強化し、駅ナカの利便性向上を図るとともに、駅ソトへの展開も推進し、競争力のあるブランドの確立に向けて取り組んでいます。

当第2四半期連結累計期間においては、(株)セブン-イレブン・ジャパン（以下、SEJ）との提携店舗の新規出店拡大を推進するとともに、既存店舗の収益性向上に取り組みました。

百貨店においては、訪日観光需要の獲得等に取り組むとともに、さらなる魅力向上のため、ジェイアール京都伊勢丹では開業以来最大規模となるリニューアル工事を進めました。

さらに、流通業セグメントに区分される宿泊特化型ホテルについては、「ヴィアイン新大阪正面口」(7月)、「ヴィアイン名古屋駅前椿町」(8月)、「ヴィアイン飯田橋後楽園」(9月)を開業しました。

その結果、流通業セグメントではSEJ提携店舗をはじめとする物販・飲食業の売上げが堅調に推移し、営業収益は前年同期比1.8%増の1,196億円となりましたが、ヴィアイン開業経費等の増加に伴い、営業利益は同11.5%減の29億円となりました。



不動産業

営業収益 **692** 億円
(前年同期比0.7%増)

営業利益 **182** 億円
(前年同期比7.9%減)

不動産業については、当社グループの保有資産の活用によりお客様の利便性向上や沿線価値向上につながる鉄道事業と親和性の高い事業と捉えて、ショッピングセンターの開発、運営や住宅分譲をはじめとする販売事業等を進めました。

4月には、「LUCUA osaka」地下2階に、新しい食のエリア「LUCUA FOOD HALL」を開業し、昨年からの地下階リニューアルが完了しました。また、9月には広島駅の商業施設「ekie (エキエ)」第3期を開業しました。

さらに、当社鉄道の沿線外及びエリア外の有望市場についても、不動産販売、賃貸事業展開を進めました。

その結果、不動産業セグメントでは商業施設のリニューアル効果等により、営業収益は前年同期比0.7%増の692億円となりましたが、昨年の不動産販売の反動等により、営業利益は同7.9%減の182億円となりました。

その他

営業収益 768 億円
(前年同期比12.8%増)

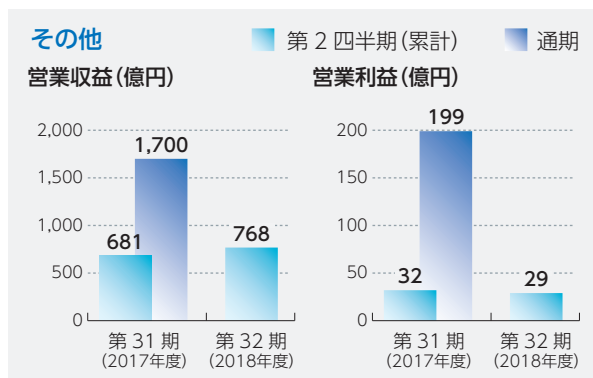
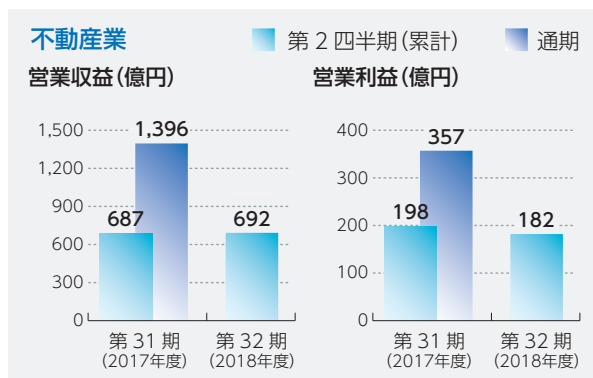
営業利益 29 億円
(前年同期比9.2%減)

ホテル業については、堅調な宿泊需要とお客様の多様なニーズに対応するため、訪日のお客様の受入体制整備等の運営力の強化や、新規ホテルの出店拡大等を推進しました。

6月には、当社グループホテルの新業態であるハイクラス宿泊主体型ホテル「ホテルヴィスキオ大阪」を開業するとともに、尼崎駅直結の「ホテルホップインアミング」を「ホテルヴィスキオ尼崎」としてリブランドオープンしました。また、8月にはキャビンスタイルホテル「ファーストキャビンステーション和歌山駅」を開業しました。さらに、経営判断を迅速化し、客室改装等によりブランド価値のさらなる向上を図るため、株式会社奈良ホテルの株式を追加取得し、完全子会社化しました。今後も「ホテルグランヴィア」をはじめとするシティホテルや、宿泊特化型ホテル「ヴィアイン」等とあわせて、多様なブランド構成で沿線外及びエリア外も含めて展開していきます。

旅行業については、訪日のお客様への営業展開を強化するとともに、法人営業における受注拡大、WEB専用商品をはじめとする個人向け商品の販売拡大等に取り組みました。

その結果、その他セグメントでは工事業において受注が増加し、営業収益は前年同期比12.8%増の768億円となりましたが、ホテル業における新規開業の経費増や「三宮ターミナルホテル」閉館の影響等により、営業利益は同9.2%減の29億円となりました。



広島駅「ekie」第3期グランドオープン

当社グループは、「JR西日本グループ中期経営計画2022」において、主要事業の深耕を基本戦略として掲げており、「駅からはじまるまちづくり」を進め、魅力的な商品やサービスを提供することで、まち全体の価値向上に貢献することをめざしています。

本年9月には、広島駅橋上・高架下商業施設「ekie（エキエ）」の第3期として、中四国最大級のお土産ゾーン「ekie おみやげ館」、広島・瀬戸内の“良きもの”を発掘し紹介する「しま商店・しま市場」、出来立てのお弁当や食品を販売する「ekie 味彩通り」、西日本初、中四国初、地元広島の人気店が集結する「エキエバル」をオープンしました。また、10月には、個性豊かな大型飲食店舗を配置した「ekie DINING TERRACE」をオープンしました。

今後も、JR西日本グループとして地域と一体となった賑わいあるまちづくりに努めていきます。

「ekie おみやげ館」



「しま商店・しま市場」



「エキエバル」



四半期連結貸借対照表(要旨)

(2018年9月30日現在)

(単位 百万円)

科目	当第2四半期連結会計期間
(資産の部)	
流動資産	445,918
固定資産	2,678,191
有形固定資産	2,372,023
無形固定資産	34,027
投資その他の資産	272,140
資産合計	3,124,109
(負債の部)	
流動負債	563,721
支払手形及び買掛金	46,695
短期借入金	22,565
1年内償還予定の社債	50,000
1年内返済予定の長期借入金	46,826
鉄道施設購入未払金	1,616
未払金	67,581
未払消費税等	11,312
未払法人税等	20,017
前受運賃	43,251
前受金	49,471
賞与引当金	36,395
災害損失引当金	21,500
ポイント引当金	2,576
その他	143,912
固定負債	1,411,038
社債	514,984
長期借入金	356,948
鉄道施設購入長期末払金	103,554
繰延税金負債	1,926
新幹線鉄道大規模改修引当金	10,416
環境安全対策引当金	15,250
線区整理損失引当金	10,079
未引換商品券等引当金	2,256
退職給付に係る負債	278,742
その他	116,879
負債合計	1,974,759
(純資産の部)	
株主資本	1,036,805
その他の包括利益累計額	15,715
非支配株主持分	96,830
純資産合計	1,149,350
負債純資産合計	3,124,109

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書(要旨)

(2018年4月1日から2018年9月30日まで)

(単位 百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間
営業収益	736,989
営業費	623,682
運輸業等営業費及び売上原価	525,347
販売費及び一般管理費	98,335
営業利益	113,306
営業外収益	3,366
受取利息	8
受取配当金	785
受託工事事務費戻入	113
持分法による投資利益	1,376
その他	1,082
営業外費用	10,836
支払利息	9,960
その他	876
経常利益	105,835
特別利益	9,236
工事負担金等受入額	8,581
その他	655
特別損失	31,990
工事負担金等圧縮額	8,024
災害損失引当金繰入額	21,500
その他	2,466
税金等調整前四半期純利益	83,081
法人税、住民税及び事業税	17,183
法人税等調整額	7,804
四半期純利益	58,093
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,609
親会社株主に帰属する四半期純利益	56,483

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社役員に関する事項 (2018年9月30日現在)

取締役及び監査役

地位	氏名	担当及び重要な兼職の状況等
取締役会長 (取締役会議長)	真鍋 精志	
取締役	佐藤友美子	追手門学院大学地域創造学部 教授、追手門学院大学成熟社会研究所長、日本放送協会経営委員会 委員
取締役	村山 裕三	同志社大学大学院ビジネス研究科 教授
取締役	齊藤 紀彦	株式会社きんでん 特別顧問、近畿車輛株式会社 社外取締役、西日本高速道路株式会社 取締役会長 (社外取締役)
取締役	宮原 秀夫	大阪大学大学院情報科学研究科 招聘教授、一般財団法人アジア太平洋研究所 理事・所長、一般社団法人ナレッジキャピタル 代表理事、大阪瓦斯株式会社 社外取締役
取締役	高木 光	京都大学大学院法学研究科 教授
代表取締役社長 兼 執行役員	来島 達夫	「経営の3本柱」に関すること
代表取締役副社長 兼 執行役員	緒方 文人	社長補佐全般、安全性向上に関すること、鉄道技術の革新に関すること、鉄道本部、安全研究所、構造技術室、建設工事事務担当
代表取締役副社長 兼 執行役員	長谷川一明	社長補佐全般、創造本部担当
代表取締役副社長 兼 執行役員	二階堂暢俊	社長補佐全般、変革の推進に関すること、企業倫理・リスク統括部、総合企画本部、IT本部、秘書室、広報部、人事部、財務部、東京本部担当
代表取締役副社長 兼 執行役員	平野 賀久	社長補佐全般、鉄道本部新幹線鉄道事業本部担当
取締役 兼 常務執行役員	半田 真一	安全性向上に関すること、鉄道本部安全推進部担当
取締役 兼 常務執行役員	倉坂 昇治	福知山線列車事故ご被害者対応本部、福知山線列車事故対策審議室、監査部、総務部担当
取締役 兼 常務執行役員	中村圭二郎	近畿統括本部担当
取締役 兼 常務執行役員	松岡 俊宏	新幹線の安全・技術等中長期的な戦略に関すること、近畿車輛株式会社 社外取締役
常勤監査役	千代 幹也	
常勤監査役	西川 直輝	
監査役	勝木 保美	勝木公認会計士事務所 公認会計士、住友精化株式会社 社外取締役、サカティンクス株式会社 社外取締役
監査役	筒井 義信	日本生命保険相互会社 代表取締役会長、株式会社帝国ホテル 社外取締役、パナソニック株式会社 社外取締役、株式会社三井住友フィナンシャルグループ 社外取締役

(注) 1. 取締役佐藤友美子、村山裕三、齊藤紀彦、宮原秀夫及び高木光の5氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 常勤監査役千代幹也、監査役勝木保美及び筒井義信の3氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

「企業理念」・「安全憲章」

安全を最優先する企業風土の構築に向けて、当社の目指すべき姿、全社員が共有すべき価値観等を示した「企業理念」を制定し、2006年4月1日から施行しております。あわせて、最大の使命である安全の確保に向けて、社員一人ひとりが具体的に行動を起こせるよう、安全に関する具体的な行動指針として「安全憲章」についても大幅な見直しを行いました。今後も引き続き、この「企業理念」「安全憲章」の具現化を図り、安全性向上、信頼回復に全力で取り組んでまいります。

JR西日本 企業理念

1. 私たちは、お客様のかけがえのない尊い命をお預かりしている責任を自覚し、安全第一を積み重ね、お客様から安心、信頼していただける鉄道を築き上げます。
2. 私たちは、鉄道事業を核に、お客様の暮らしをサポートし、将来にわたり持続的な発展を図ることにより、お客様、株主、社員とその家族の期待に応えます。
3. 私たちは、お客様との出会いを大切にし、お客様の視点で考え、お客様に満足いただける快適なサービスを提供します。
4. 私たちは、グループ会社とともに、日々の研鑽により技術・技能を高め、常に品質の向上を図ります。
5. 私たちは、相互に理解を深めるとともに、一人ひとりを尊重し、働きがいと誇りの持てる企業づくりを進めます。
6. 私たちは、法令の精神に則り、誠実かつ公正に行動するとともに、企業倫理の向上に努めることにより、地域、社会から信頼される企業となることを目指します。

安全憲章

私たちは、2005年4月25日に発生させた列車事故を決して忘れず、お客様のかけがえのない尊い命をお預かりしている責任を自覚し、安全の確保こそ最大の使命であるとの決意のもと、安全憲章を定めます。

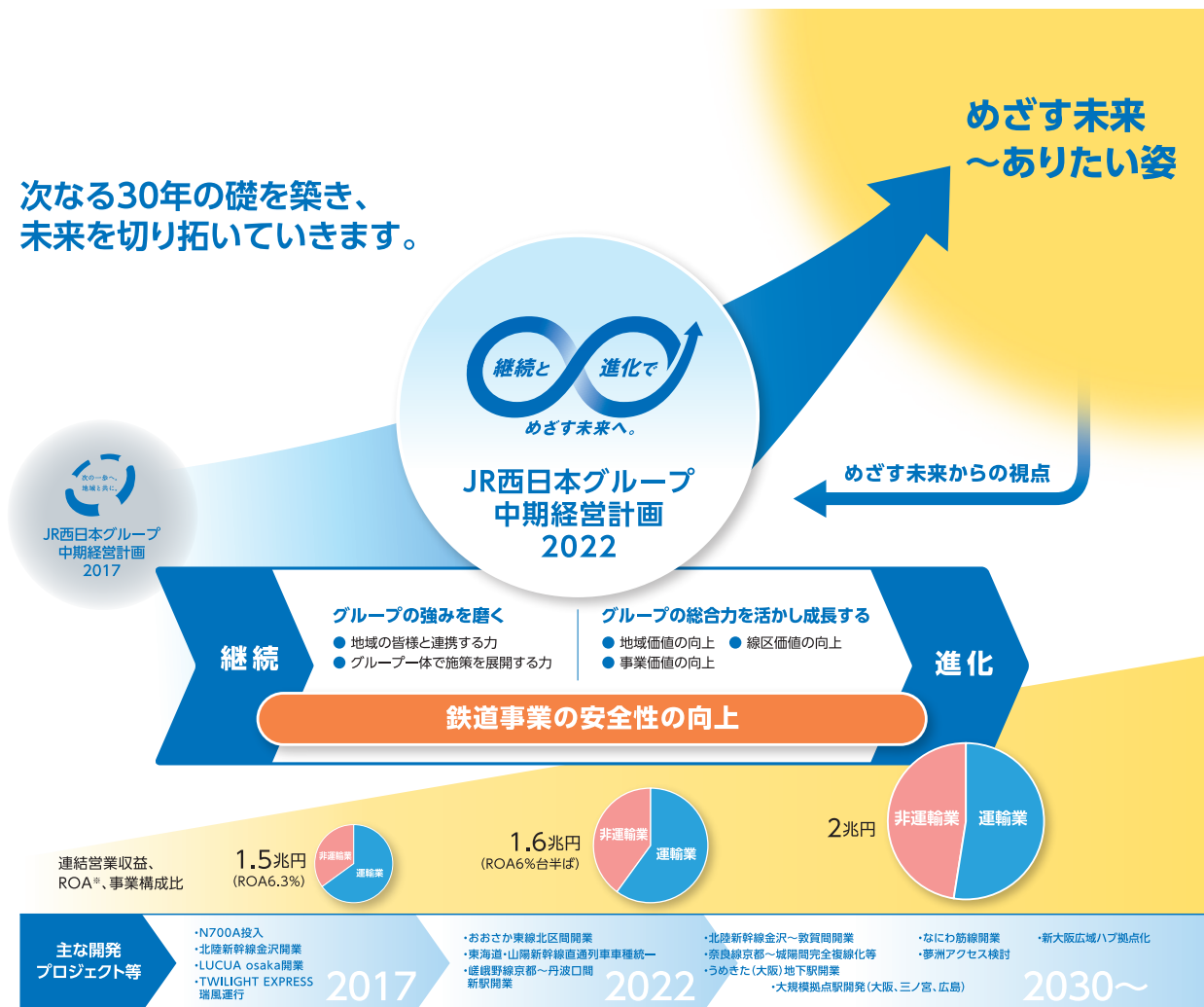
1. 安全の確保は、規程の理解と遵守、執務の厳正および技術・技能の向上にはじまり、不断の努力によって築きあげられる。
2. 安全の確保に最も大切な行動は、基本動作の実行、確認の励行および連絡の徹底である。
3. 安全の確保のためには、組織や職責をこえて一致協力しなければならない。
4. 判断に迷ったときは、最も安全と認められる行動をとらなければならない。
5. 事故が発生した場合には、併発事故の阻止とお客様の救護がすべてに優先する。

「JR西日本グループ中期経営計画2022」

めざす未来へのステップ

次なる30年の礎を築き、
未来を切り拓いていきます。

めざす未来
～ありたい姿

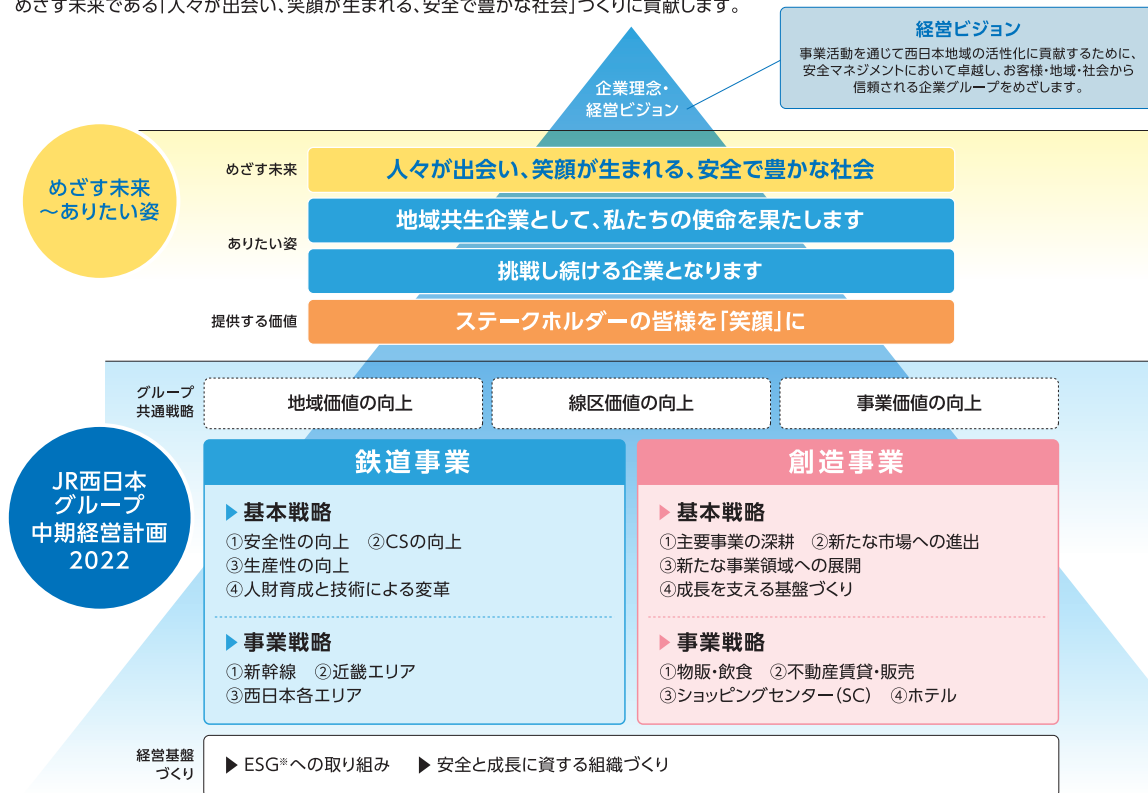


※ROA：Return On Asset、総資産営業利益率

JR西日本グループの戦略の体系

企業理念、経営ビジョンの実現に向け、JR西日本グループ中期経営計画2022を推進します。

私たちは、鉄道を基軸とした社会インフラ企業グループとして、企業理念、経営ビジョンに安全が経営の根幹であることを掲げています。企業理念、経営ビジョンの実現に向け、JR西日本グループ中期経営計画2022を推進し、めざす未来である「人々が出会い、笑顔が生まれる、安全で豊かな社会」づくりに貢献します。



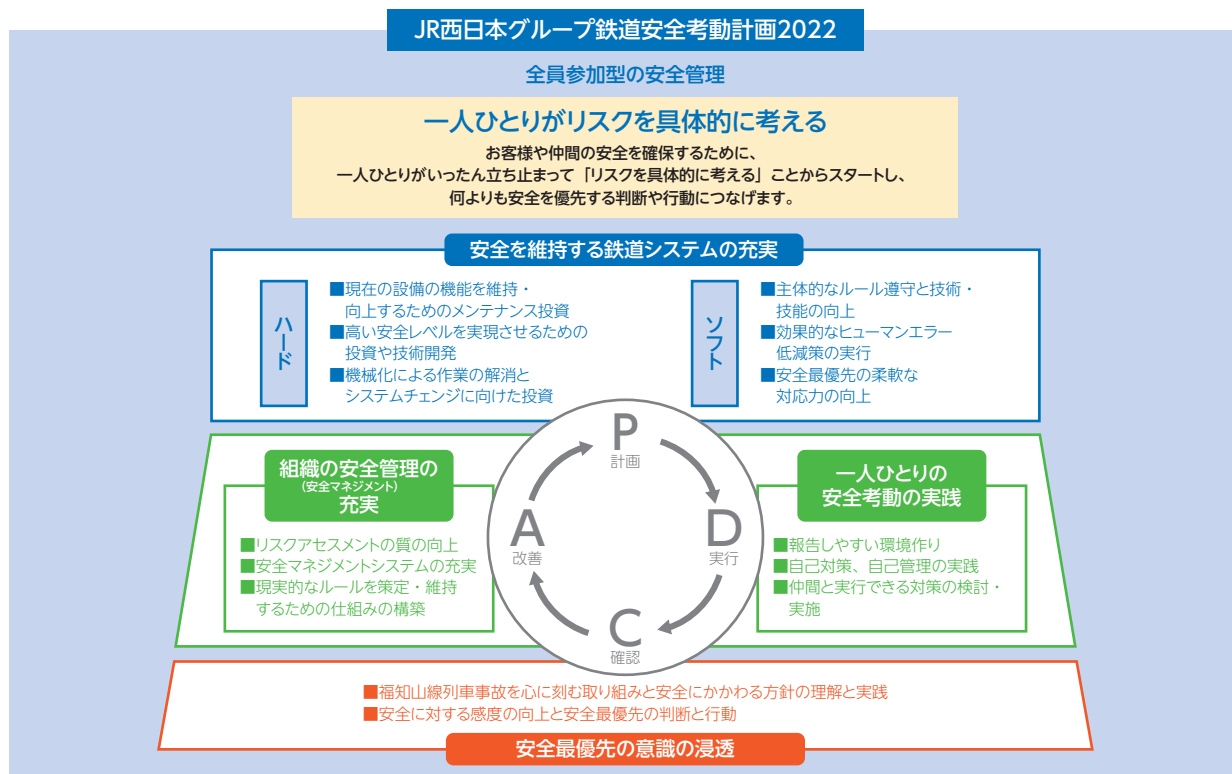
*ESG…環境(Environment)、社会(Society)、企業統治(Governance)の頭文字で、企業の持続可能性や長期持続的な企業価値の向上の重要な要素とされる。近年、投資先の判断基準としても重視されつつある。

「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2022」

「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2022」は、「福知山線列車事故のような事故を二度と発生させない」という変わらぬ決意のもと、原点に立ち返り、安全を追求するために策定しました。社会からの信認を得られるよう、JR西日本グループが一丸となって、本計画を確実に遂行していきます。

「安全最優先の意識の浸透」を土台とし、「組織の安全管理の充実」「一人ひとりの安全考動の実践」を通じて、「安全を維持する鉄道システム」の充実を図り、「全員参加型の安全管理」を実現し、重大な事故・労災の未然防止をめざします。

具体的には、直面する状況において、お客様や仲間の安全を確保するために、一人ひとりがいったん立ち止まって「リスクを具体的に考える」ことからスタートし、何よりも安全を優先する判断や行動につながります。



JR西日本グループの概要 (2018年9月30日現在)

当社グループは、当社、子会社154社及び関連会社21社で構成され、その営んでいる主要な事業及びグループ会社の概要は、次のとおりであります。

運輸業

〈鉄道事業〉

- ・嵯峨野観光鉄道(株)
- ・関西高速鉄道(株)※
- ・大阪外環状鉄道(株)※

〈旅客自動車運送事業〉

- ・中国ジェイアールバス(株)
- ・西日本ジェイアールバス(株)

〈船舶事業〉

- ・JR西日本宮島フェリー(株)

流通業

〈百貨店業〉

- ・(株)ジェイアール西日本伊勢丹

〈物販・飲食業〉

- ・(株)ジェイアール西日本デイリーサービスネット
- ・(株)ジェイアール西日本フードサービスネット

- ・(株)ジェイアールサービスネット広島
- ・(株)ジェイアールサービスネット岡山
- ・(株)ジェイアールサービスネット金沢
- ・(株)ジェイアールサービスネット福岡
- ・(株)ジェイアール西日本ファッショングッツ

〈各種物品等卸売業〉

- ・ジェイアール西日本商事(株)

〈その他流通業〉

- ・JR西日本山陰開発(株)

不動産業

〈不動産販売・賃貸業〉

- ・京都駅ビル開発(株)
- ・大阪ターミナルビル(株)
- ・JR西日本不動産開発(株)
- ・JR西日本プロパティーズ(株)

〈ショッピングセンター運営業〉

- ・天王寺SC開発(株)

- ・JR西日本SC開発(株)
- ・京都ステーションセンター(株)
- ・富山ターミナルビル(株)
- ・山陽SC開発(株)
- ・金沢ターミナル開発(株)
- ・神戸SC開発(株)
- ・中国SC開発(株)

- ・(株)和歌山ステーションビルディング
- ・(株)新大阪ステーションストア
- ・JR西日本大阪開発(株)
- ・(株)京都駅観光デパート

その他

〈ホテル業〉

- ・(株)ジェイアール西日本ホテル開発
- ・(株)ホテルグランヴィア広島
- ・(株)ホテルグランヴィア大阪
- ・(株)ホテルグランヴィア岡山
- ・和歌山ターミナルビル(株)
- ・三宮ターミナルビル(株)

〈旅行業〉

- ・(株)日本旅行

〈貸自動車業〉

- ・JR西日本レンタカー&リース(株)

〈広告業〉

- ・(株)JR西日本コミュニケーションズ

〈車両等設備工事業〉

- ・(株)ジェイアール西日本テクノス
- ・(株)ジェイアール西日本新幹線テクノス

〈機械等設備工事業〉

- ・(株)JR西日本テクノシア

〈電気工事業〉

- ・西日本電気テック(株)
- ・西日本電気システム(株)

〈土木・建築等コンサルタント業〉

- ・ジェイアール西日本コンサルタント(株)
- ・アジア航測(株)※

〈建設事業〉

- ・大鉄工業(株)
- ・(株)レールテック
- ・(株)ジェイアール西日本ビルト
- ・広成建設(株)※

〈清掃整備事業〉

- ・(株)JR西日本メンテック
- ・(株)JR西日本広島メンテック
- ・(株)JR西日本金沢メンテック
- ・(株)JR西日本福岡メンテック
- ・(株)JR西日本岡山メンテック
- ・(株)JR西日本福知山メンテック
- ・(株)JR西日本米子メンテック

〈情報サービス業〉

- ・(株)JR西日本ITソリューションズ
- ・鉄道情報システム(株)※

〈その他〉

- ・(株)ジェイアール西日本リネン
- ・(株)ジェイアール西日本総合ビルサービス
- ・(株)ジェイアール西日本マルニックス
- ・JR西日本フィナンシャルマネジメント(株)
- ・(株)JR西日本カスタマーリレーションズ
- ・(株)JR西日本交通サービス
- ・(株)ジェイアール西日本ウェルネット
- ・(株)JR西日本イノベーションズ

(注) ※は、持分法適用関連会社を示しております。

株主様アンケート集計結果のご報告

2018年6月～7月に実施いたしました株主様アンケートにつきまして、多くの株主様にご協力をいただき、心より御礼申し上げます。主な集計結果を以下のとおりご報告申し上げます。

《実施概要》

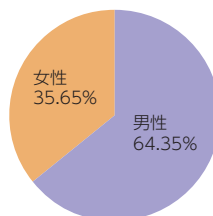
実施期間：2018年6月22日～7月31日(必着)

対象：2018年3月末時点で100株以上保有の株主様

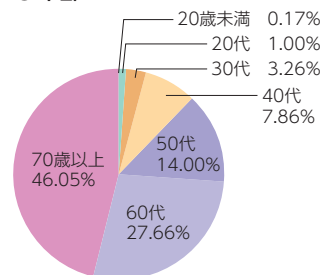
回答数：23,032名

株主様について

●性別

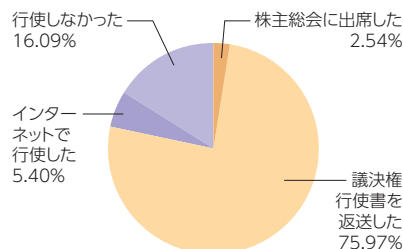


●年齢

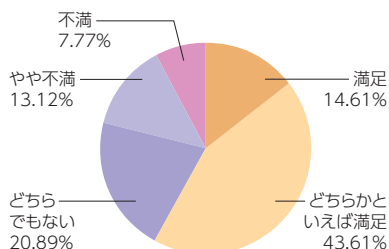


株主総会について

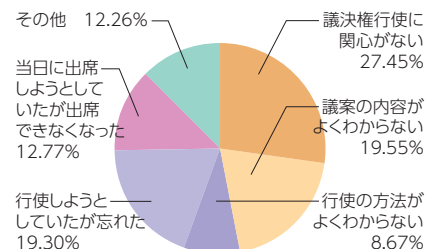
Q 当社の今年の株主総会について、議決権を行使されましたか？



Q 株主総会に対する評価をお聞かせください。

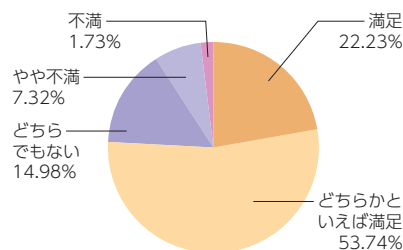


Q 議決権を行使されなかった理由は何か？



当社について

Q 株主様として当社の評価をお聞かせください。



Q 株主様として、当社の経営に望まれること。

「安全・安心面の充実をお願いしたい。さらに、危機管理体制の充実もあわせてお願いしたい。」「地震や台風などの自然災害発生を踏まえ、災害に強い安全な鉄道をつくって下さい。」など「安全」に関するものが最も多く、「地元と一緒に地元住民の利用促進だけでなく、外の地域からもお客様を呼べるアイデアを出し合っていく場を設けて頂きたい。」などの「地域共生」に関するお声も多数寄せられました。

このほか、「今一度原点にもどって、鉄道の面白さをこれからの子供達に伝えてほしい。」などのお声や、「株主優待」、「株主施策」などに関し、様々なお声が寄せられました。

ご回答いただきました結果を踏まえ、よりわかりやすい情報開示など、今後の取り組みの参考とさせていただきます。

株主優待制度

毎年3月31日の最終の株主名簿に記載された株主の皆様に対し、毎年5月下旬に以下のような「株主優待割引券」(以下「優待券」という。)をご送付いたします。

鉄道優待割引

送付枚数

保有株式数	鉄道優待券(通常発行)	鉄道優待券(追加発行) 1単元(100株)でも3年以上継続保有 追加はございません
100株～299株	100株ごとに1枚	
300株～499株	100株ごとに1枚	1枚追加
500株～999株	100株ごとに1枚	2枚追加
1,000株～1,099株	100株ごとに1枚	3枚追加
1,100株～10,099株	10枚+1,000株超過分 200株ごとに1枚	3枚追加
10,100株～19,999株	55枚+10,000株超過分 300株ごとに1枚	3枚追加
20,000株～	100枚	3枚追加

割引率

- 優待券1枚のご使用で50%割引
※2枚以上の同時使用はできません。

割引対象のきっぷ

- 運賃……片道乗車券
- 料金……特急券、急行券、グリーン券及び指定席券
- 1枚の優待券で運賃と料金ともに割引となります。
※寝台を利用する場合は、運賃・料金とも割引の対象といたしません。
※グリーンを利用する場合は、運賃のみを割引の対象とし料金は割引の対象といたしません。

割引対象の区間

- 当社の営業路線内とします。

取扱箇所

- 当社の駅とします。
※当社係員がいない駅など、一部お取扱いできない駅があります。

京都鉄道博物館優待割引

送付枚数 一律1枚

割引率 50%割引

※1枚の使用で、最大2名様(同時入場に限る)まで

JR西日本ホテルズ優待割引

送付枚数

保有株式数	宿泊優待券	レストラン優待券
100株～1,099株	100株ごとに1枚	100株ごとに2枚
1,100株～10,099株	15枚	30枚
10,100株～19,999株	20枚	40枚
20,000株～	25枚	50枚

割引率

- 宿泊優待………1泊1室の基本室料を30%割引
- レストラン優待……5名様までのご飲食料金を10%割引
※一部ご利用いただけないレストランがあります。

対象となるホテル

- JR西日本ホテルズの各ホテル

ヴィアイン優待割引

送付枚数

保有株式数	宿泊優待券
100株～1,099株	100株ごとに1枚
1,100株～10,099株	15枚
10,100株～19,999株	20枚
20,000株～	25枚

割引率

- 1泊1室の基本室料を30%または20%割引
- 対象となるホテル**
- 20%割引…ヴィアイン姫路
 - 30%割引…上記以外のヴィアイン全ホテル

JR西日本ファーストキャビン優待割引

送付枚数

保有株式数	宿泊優待券
100株～1,099株	100株ごとに1枚
1,100株～	10枚

割引率

- 1泊1室の基本室料を30%割引

対象となるホテル

- ファーストキャビンステーションあべの荘

ジェイアール西日本伊勢丹優待割引

送付枚数

保有株式数	お買物	レストラン・喫茶・美容室	写真室・貸衣装	駐車場
100株～499株	100株ごとに3枚	3枚	1枚	6枚
500株～1,099株	100株ごとに3枚	6枚	2枚	12枚
1,100株～10,099株	45枚	6枚	2枚	12枚
10,100株～19,999株	60枚	6枚	2枚	12枚
20,000株～	75枚	6枚	2枚	12枚

割引率

- お買物、レストラン・喫茶、美容室、写真室、貸衣装の各優待…10%割引
- 駐車場優待…お買物による駐車サービス(通常2時間)を1時間延長

対象となる店舗

- ジェイアール京都伊勢丹
- ルックア大阪内イセタン各ショップ(お買物優待のみご利用いただけます)
※その他店舗及び「スパコ・ジェイアール京都伊勢丹」ではご利用できません。

日本旅行優待割引

送付枚数 一律1枚

割引率(1枚で2名様までご利用可能)

- 国内旅行商品「赤い風船」5%割引
- 海外旅行商品「マッハ」5%割引、「ベストエクセレント」3%割引、「ベスト」3%割引

対象となる店舗

- 日本旅行の直営店舗(一部店舗を除く)

駅レンタカー優待割引

送付枚数 一律3枚

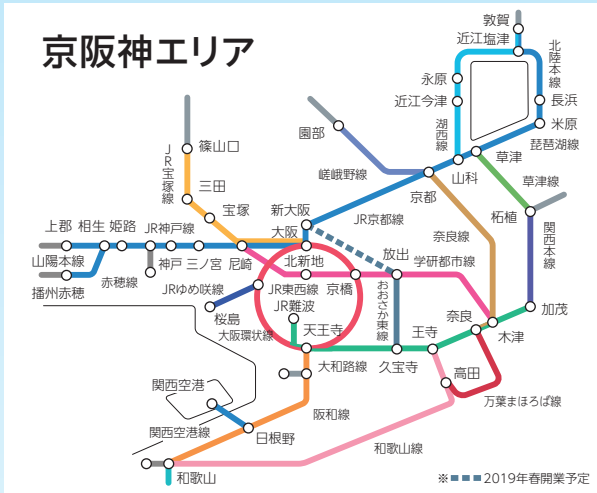
割引率 基本料金の20%割引(1枚で1台の貸渡にご利用いただけます)

対象となる店舗

- JR西日本レンタカー&リースの駅レンタカー各営業所(一部店舗を除く)
- ご利用の際は、事前に予約センター(0088-24-4190)に電話にてご予約、または、駅レンタカーホームページ(<https://www.ekiren.com>)の「会員様専用」ページよりネットでご予約ください。

JR 西日本営業エリアマップ

(2018年9月30日現在)



- 新幹線
- 在来線
- - - 他JR線(新幹線)
- 他JR線(在来線)
- 会社境界駅(当社の駅)
- 会社境界駅(JR他社の駅)

株式に関する事項 (2018年9月30日現在)

発行可能株式総数 ————— 800,000,000株

発行済株式総数 ————— 192,481,400株

(注)発行済株式総数には、自己株式の648株を含んでおります。

株主数 ————— 138,635名

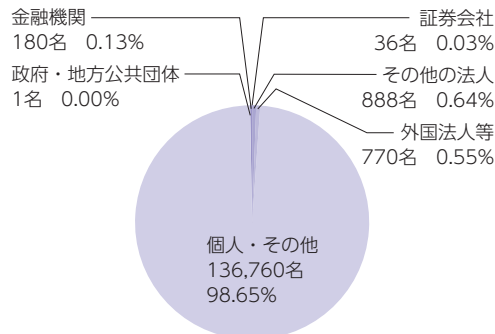
上位10名の株主

株主名	持株数(持株比率)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,622,100株 (5.52%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	9,116,400 (4.74)
株式会社三井住友銀行	6,400,000 (3.33)
株式会社三菱UFJ銀行	6,300,000 (3.27)
日本生命保険相互会社	4,000,000 (2.08)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	3,559,300 (1.85)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	3,505,800 (1.82)
JR西日本社員持株会	3,400,700 (1.77)
株式会社みずほ銀行	3,250,000 (1.69)
三井住友信託銀行株式会社	3,200,100 (1.66)

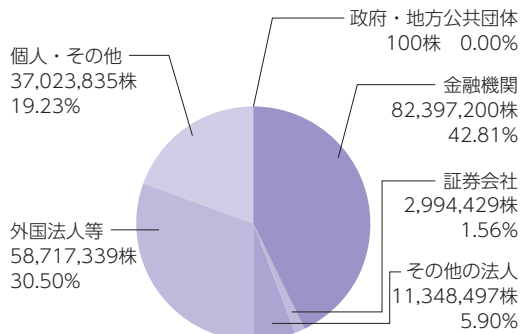
(注)持株比率の算定にあたっては、発行済株式の総数から自己株式648株を除いております。

所有者別分布状況

株主数



所有株式数



(注)「個人・その他」には、自己株式648株を含んでおります。

株主様限定 当社施設見学会のご案内

株主の皆様へ当社の事業内容へのご理解を一層深めていただけるよう、次のとおり施設見学会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

なお、ご応募いただけるコースはAまたはBのいずれか一方です。それ以外のご応募は全て無効とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

A 「吹田総合車両所」での車両見学&開業前の「南吹田駅(おおさか東線)」内覧コース

「吹田総合車両所」にて車両見学、2019年春に開業するおおさか東線の「南吹田駅」を見学いただけます。



※写真はイメージです。諸般の都合により、車両や内覧駅が変更となる場合があります。

見学場所	吹田総合車両所 (大阪府吹田市目依町) おおさか東線 南吹田駅 (大阪府吹田市南吹田)
開催日時	2019年2月25日(月) 13:00~17:00頃(予定)
募集人数	同伴者様を含め50組100名様 ※株主1名様につき、同伴者1名様まで可。 ※同伴者は株主の方でなくても結構ですが、安全上の都合により小学生以上とさせていただきます。

B 「ホテルヴィスキオ京都 by GRANVIA」での開業前の試泊&「京都鉄道博物館」自由見学コース

2019年5月30日にオープン予定の「ホテルヴィスキオ京都 by GRANVIA」にご試泊いただき、翌日は「京都鉄道博物館」を自由に見学していただけます。※諸般の都合により、内容が一部変更となる場合があります。



見学場所	ホテルヴィスキオ京都 by GRANVIA (京都市南区東九条上殿田町) 京都鉄道博物館 (京都市下京区観喜寺町)
宿泊日	2019年5月25日(土)(予定)
募集人数	同伴者様を含め50組100名様 ※株主1名様につき、同伴者1名様まで可。 なお、同伴者は株主の方でなくても結構です。

注意事項 「ホテルヴィスキオ京都 by GRANVIA」については、開業前の試泊のため、十分にサービスが行き届かない場合があるかと存じますが、あらかじめご了承ください。なお、夕食の準備はございません。朝食のみご用意させていただきます。

ご応募について

対象者 2018年9月30日現在、当社株式を100株(1単元)以上ご所有の株主様

参加費 無料
※ただし、集合・解散場所までの往復交通費等は参加者様のご負担をお願いいたします。
※駐車場をご用意しておりませんので、お車の来場はご遠慮ください。

応募方法 同封の参加申込はがきに必要な事項をご記入いただき、いずれかのコースを選択のうえ、お申込みください。
なお、応募多数の場合は、ご所有株式数100株(1単元)につき1口のお申込みとして、抽選させていただきます。

※参加申込はがきには、同伴者の有無、ご連絡先となる電話番号を必ずご記入ください。(お名前・ご住所のご記入は不要です。)

※当社株式を3年以上継続保有されている株主様は、当選倍率の優遇をさせていただきます。

※ご応募いただけるコースは、AまたはBのいずれか一方です。それ以外のご応募は全て無効とさせていただきます。また、口数をAとBそれぞれに振り分けてのお申込みもできかねますので、あらかじめご了承ください。

応募締切 2018年12月25日(火) 必着

抽選結果及び詳細のご連絡 抽選結果のご連絡及び参加いただく株主様への詳しいご案内は、2018年9月30日現在の株主名簿に記載されたご住所宛に以下の日程で送付いたします。

Aコース：2019年2月上旬頃に送付予定

Bコース：2019年3月上旬頃に送付予定


その他 ●ご応募に際していただいた個人情報は、施設見学会の実施及び今後の株主様向け活動のためにのみ使用し、他の目的には使用いたしません。

●当日、当社にて撮影した写真等は、当社のIR・広報活動等において使用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

●荒天等、諸般の事情により内容が変更または中止となる場合があります。その場合は当選された株主様にご連絡を差しあげます。

●当選した権利を他人(ご家族、他の株主様を含む)に譲渡することはできませんのでご了承ください(ネットオークションへの出品を含め、転売目的のご応募は固くお断りいたします)。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主確定日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
(ホームページURL)	http://www.westjr.co.jp/company/ir/koukoku/
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	 0120-782-031
(ホームページURL)	https://www.smb.jp/personal/agency/index.html

株式に関する住所変更等のご照会及びお届出について

株式に関するお手続き(届出住所、姓名等の変更、配当金の振込方法、振込先の変更、単元未満株式の買取・売渡請求等)のご照会及びお届出につきましては、証券会社での口座開設の有無に応じて、以下のいずれかの窓口にご連絡ください。
(証券会社で口座開設されている株主様)
当該証券会社にご連絡ください。
(証券会社で口座を開設されていない株主様)
三井住友信託銀行にご連絡ください。(下記もご参照ください。)

特別口座について

株券電子化の施行日(2009年1月5日)前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様のご所有株式は、三井住友信託銀行に開設された口座(特別口座)に記録されています。特別口座の詳細につきましては、左記の三井住友信託銀行の電話照会先にお問合わせください。

マイナンバー制度のご案内について

株式の税務関係の手続き(税務署への配当金に関する支払調書の提出など)において、株主様のマイナンバーが必要となりますので、口座のある証券会社にお届出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設された株主様は、左記の三井住友信託銀行の電話照会先にお問合わせください。



※この冊子は環境にやさしい植物油インキを使用しています。

ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザイン
の文字を採用しています。